

日本の大学進学を目指す
アジア太平洋出身の留学生を支援します

2025年 春季採用

指定大学・大学院向け



公益財団法人

千本財団

Frances and Sachio Semmoto
Foundation

留学生への奨学金給付および育成事業のご案内

千本財団は、日本の4年制・6年制大学の学部及び大学院修士課程に在籍するアジア太平洋出身の留学生を支援します。

■千本奨学金制度（指定大学・大学院修士課程在籍者）の特徴（給付内容と期間）

（1）返済不要

千本財団の奨学金は返済不要です。奨学生の方は安心して勉学に専念することができます。

（2）最短修業年限の支援

出願時に指定22大学の学部¹に在籍している者並びに大学院（修士課程）に在籍もしくは2025年4月から在籍を予定する者を対象に募集を行います。

採用後、最短修業年限に達するまで、再応募が可能です。

指定22大学の学部・大学院



- 応募時期：12月
- 給付内容：月額12万円
- 給付期間：原則1年間(2025年4月～)
- * 毎年12月に再応募可能

* 選考会場（東京メトロ銀座線京橋駅直結）より片道100km以上の地域にお住まいの方については、選考会に参加する費用として交通費（航空券、新幹線等）を支給します。

■ 応募資格

(1) 国籍とビザ

在留資格「留学」で日本に在留している者で下記の国籍の者

ラオス人民民主共和国	カンボジア王国	ミャンマー連邦共和国
インドネシア共和国	ベトナム社会主義共和国	フィリピン共和国
タイ王国	マレーシア	アメリカ合衆国

(2) 在籍状況等

応募年の翌年度4月から日本国内の指定22大学の4年制学部または大学院（修士課程）の正規課程に在籍を予定している者。

* 指定22大学：北海道大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学、国際教養大学、お茶の水女子大学、東京科学大学（旧：東京工業大学および東京医科歯科大学）、東京芸術大学、一橋大学、横浜国立大学、横浜市立大学、筑波大学、神戸大学、奈良女子大学、早稲田大学、慶應義塾大学、国際基督教大学、上智大学、東京理科大学

(3) 学業・健康

学業優秀の他、異文化理解、コミュニケーション能力に対する関心を持ち、また目標に向かって真摯に努力する姿勢を兼ね備え、心身ともに留学生活に耐えうる健全な者。

(4) 経済状況

経済的な理由で留学費用の全額支弁が困難である者

(5) 年齢

2025年4月1日時点で29歳未満の者

■千本財団が求める奨学生の人物像

- ①社会の課題を解決し、世の中に貢献しようとする勇気と責任感のある人物
- ②自ら仮説を立てて、リスクをもって挑戦し、失敗から学んでいける人物。
- ③起業家精神を持ち合わせ、新しいことに挑戦しようという気概がある人物。
- ④正しいと信じる道を自ら選んで歩む能力を鍛えること、他人と意見が違ってても堂々と主張できること、間違いがあっても修正して挑戦を続けられる人物。

■千本奨学生を支えるサポート体制

(1) 財団役員および職員からのサポート

現KDDI、現Y!mobileを創業した連続起業家である千本代表理事、多摩大学教授である小林英夫理事をはじめとした、日本の各界で活躍する当財団役員が必要に応じて奨学生のキャリア相談に応じます。

また、生活で困ったこと、就職活動、大学院進学、大学院進学後の奨学金など、財団職員が親身になって相談に応じ、奨学生を手厚くサポートします。

(2) 奨学生同士のコミュニティ

学力的にも人格的にも優れた奨学生が集まっており、学年を超えて奨学生同士のコミュニティを形成しています。まず2カ月に1度程度の頻度でオンライン交流会を開催し、奨学生同士の親睦を深め、日本での生活について苦楽を共にしています。その他、3月には奨学生の大学卒業及び大学合格をお祝いする行事を開催し、奨学生同士の親睦を深めています。

■採用実績について

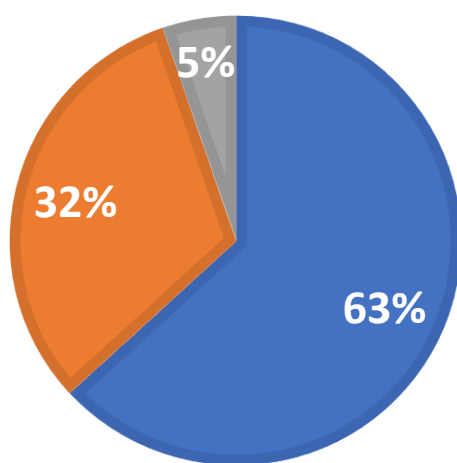
(1) 昨年の採用実績

指定大学の学部生及び大学院生（修士課程）対象の奨学金募集は昨年からはじめました。（ ）は内数で、日本語学校生対象の奨学生制度で応募の人数です。

	2023
応募総数	21 (9)
新規採用者数	7 (2)
継続奨学生数	13
奨学生合計	19

(2) 奨学生の専攻分野（計19名）

■理系 ■文系 ■芸術



(3) 国籍別の奨学生数

マレーシア	9名
インドネシア	5名
ベトナム	3名
アメリカ	1名
タイ	1名

財団の概要

■ 目的

千本財団は、大学就学を目指すアジア太平洋各国の成績優秀な学生生徒で、経済的理由により修学困難な者に対して、返済義務の無い奨学金を給付することで、出身国のリーダーとなり国家の発展及び日本とアジア太平洋各国の相互理解の深化に貢献する人材を育成することを目的とする。

■ 事業内容

- ・ アジア太平洋各国の学生生徒に対する奨学金の給付
- ・ 奨学金を受ける学生生徒の指導及び育成
- ・ 奨学金を受けた者同士の交流の支援
- ・ その他この法人の目的を達成するために必要な事業

■ 代表理事挨拶



日本は、先の大戦や3.11東日本大震災からの復興を通し、世界各国の人々から、愛と寛容と勇気をもらいました。私は海外留学など一般学生にとって夢の時代であった1960年代に、フルブライト奨学金を得て米国に留学し、グローバルな視点での社会貢献を尊ぶ精神と、その根幹である米国のオープンな価値観に触れ、衝撃を受けました。その時の出会いや経験が、その後の私の人生観の形成に重要な役割を果たし、第二電電（現KDDI）をはじめ、数々の企業の創業に繋がりました。

私の留学から半世紀が経過し、世界は想像もしない変化をしつつあります。しかし、グローバル化と多様化が混然と進む現在においてこそ、世界の人々に支えられて発展を遂げた日本が、人類の共通の価値観であるべき愛と寛容の精神に基づき、世界を担う人材の育成に貢献すべきであると私は考えます。その結果として、アジアの若者が、我が国の文化の根源である和と懐の深さについて理解を深めてくれたらこれにまさる喜びはありません。

私は、この理念を実現すべく、とりわけ経済的な理由で高度教育を受ける機会が少なく、我が国と関係の深いアジア太平洋各国の若者を対象に、返還義務のない奨学金を支給することを目的とした「千本財団」（英名：Frances & Sachio Semmoto Foundation）を設立致しました。

代表理事 千本 倅生

■評議員（3名以上6名以内）

2024/4/30現在

評議員	川口 順子	武蔵野大学国際総合研究所名誉顧問、東京財団政策研究所名誉研究員、元外務大臣、元環境大臣
評議員	藤崎 一郎	一般社団法人日米協会会長（元駐米大使）、武蔵野大学客員教授
評議員	大角 幸枝	日本工芸会正会員 重要無形文化財保持者（鍛金）
評議員	飯田 さやか	くりやホールディングス株式会社取締役
評議員	千本 祥子	株式会社フランスス 代表取締役

■役員（理事：3名以上6名以内、監事：2名以内）

代表理事	千本 倅生	第二電電株式会社（現KDDI）、イー・アクセス株式会社、イー・モバイル株式会社（現Y!mobile）共同創業者 アシュラントジャパン Global Strategy Architect 多摩大学 特別客員教授 一般財団法人 こどもたちとともに歩む会 代表理事 京都大学大学院 特別教授
理事	近藤 誠一	国際ファッション専門職大学学長 元文化庁長官
理事	橋本 徹	みずほフィナンシャルグループ 名誉顧問
理事	日比谷 潤子	学校法人 聖心女子学院 常務理事
理事	小林 英夫	多摩大学 経営情報学部長 教授
理事	東 信吾	一般社団法人ソーシャルビジネスバンク 代表理事
監事	中村 亨	日本クリアス税理士法人代表 公認会計士 税理士

■沿革

2017年9月	一般財団法人千本財団 設立
2018年10月	第1期千本奨学生採用 留学生の奨学金給付および育成事業の開始
2019年2月	公益財団法人に認定 名称を公益財団法人千本財団に改める



公益財団法人
千本財団

■所在地・連絡先等

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1 京橋エドグラン18F

TEL：03-5656-5297 FAX：03-3516-6261

URL: <https://semmoto.or.jp/>

当財団のご訪問を希望される方は、上記ホームページのお問い合わせフォームより事前にご申請頂きたくお願い申し上げます。



公益財団法人
千本財団